

## 哲学思想基本研究I (その1)

2 units 2nd-year(1st semester)

Hiroyuki Yamaguchi · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

**Target)** 我々が何かものを考えるときには、さまざまな知識を前提として考えを組み立てる。そうした、「思考の前提」となっているものについて思考することはきわめて困難である。しかしながら「哲学」の仕事とは、そうした「思考の前提」を問い直し、明るみに出そうとするものであるべきだと私は思う。ミシェル・フーコー『言葉と物』を読んで、思考の前提となるべきものの構築過程を知る。

**Outline)** フーコー『言葉と物』研究。毎回、担当者を決め、担当箇所の概要、議論すべき論点、疑問点などを発表してもらい、発表をもとに参加者で議論を行う。おおよそ2, 3週間に一章のペースで進める。

**Keyword)** 科学と哲学, *philosophy*

**Fundamental Lecture)** “**Humanity and Life/Philosophy of mind**”(0.4), “**Humanity and Life/Introduction to Bioethics**”(0.2)

**Relational Lecture)** “**ヨーロッパ思想研究**”(0.3)

**Notice)** たくさん本を読むこと。毎回の授業で、関連する文献を紹介します。また、研究書の巻末には参考文献が掲載されています。それらを手に入れ、読み、報告すること。一ヶ月にどんなに少なくとも1冊、できれば週に1冊のペースで読むこと。

**Goal)**

1. 科学史・科学哲学に対する基礎的な知識を身につける。
2. 自ら哲学的に思考する技術を身につける。

**Schedule)**

1. イン트로ダクション:授業についての説明など
2. 第1章侍女たち(1)
3. 第1章侍女たち(2)
4. 第2章世界という散文(1)
5. 第2章世界という散文(2)
6. 第3章表象すること(1)
7. 第3章表象すること(2)
8. 第3章表象すること(3)
9. 第4章語ること(1)
10. 第4章語ること(2)
11. 第4章語ること(3)
12. 第5章分類すること(1)

13. 第5章分類すること(2)

14. 第5章分類すること(3)

15. まとめ

**Evaluation Criteria)** 担当を分担して報告すること、3分の1以上の欠席をしないことが必要条件。報告の内容や発表の様子、議論への参加、学期末のレポートで総合的に成績評価する。

**Re-evaluation)** なし。

**Textbook)** ミシェル・フーコー『言葉と物』新潮社

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218877>

**Contact)**

⇒ Yamaguchi (共通教育4号館404(11年3月まで), +81-88-656-7615, yamaguti@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 火曜10:30-11:30)